

アルミ製純度99%の遮熱シート

# サーモバリア

## Thermo Barrier

### 「屋根」施工マニュアル

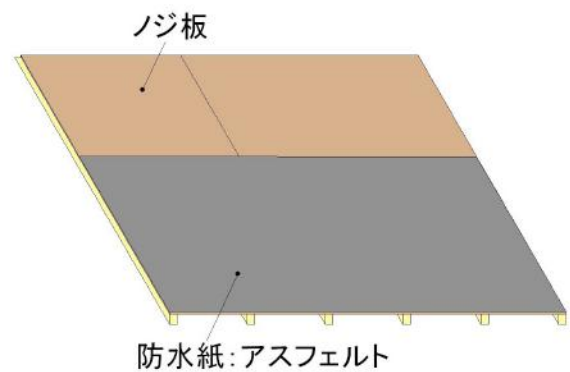
【目的】屋根の熱射対策としてのサーモバリア施工マニュアルです。

【使用部材】

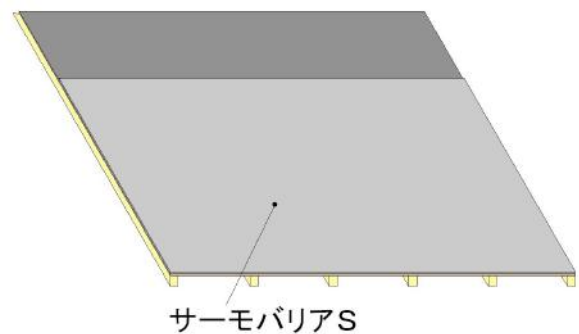
サーモバリアS・サーモバリアスリム・サーモバリアエアアール・専用アルミテープ

**瓦の場合**

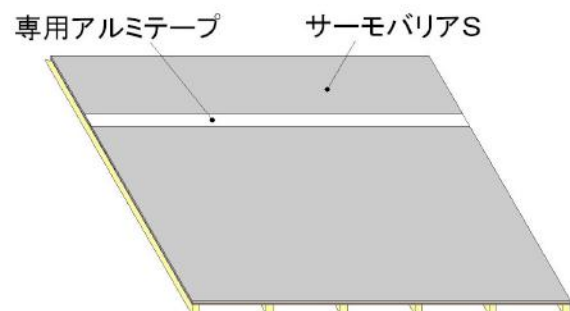
- ①タルキの上にノジ板を張り、ルーフィングを貼ります。
- \* 通常の施工です。



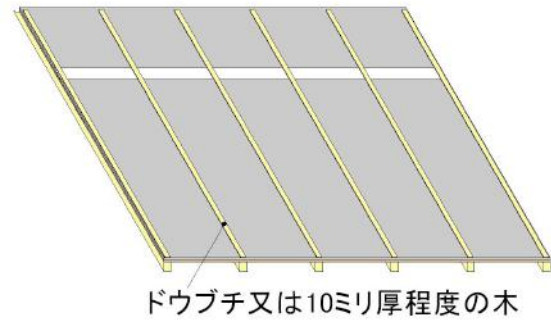
- ②ルーフィングの上にサーモバリアSを敷きます。ステープル(また釘)でサーモバリアSを止めつけます。
- \* 縦方向にサーモバリアSを敷いてもOKです。
  - \* サーモバリアスリムでもOKです。
- 注意) 滑りやすいのでご注意ください！



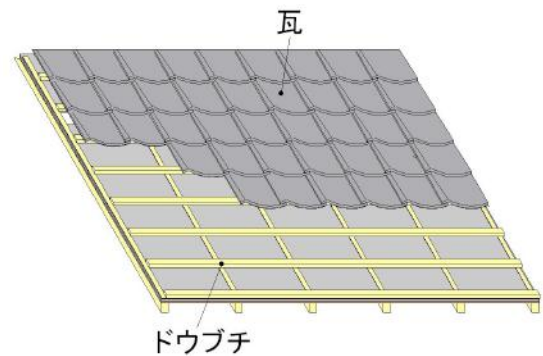
- ③サーモバリアSは重ねずジョイントは突き付けとし、ジョイントを専用アルミテープで張り合わせます。
- \* サーモバリアスリムの場合は3センチほど重ねます。(専用テープは不要)



- ④タルキ当りに縦サン木を打ちます。  
縦サン木は必ず必要ではありませんが、横サンにホコリが溜まるのを防ぐために行います。  
こうすることで、サーモバリアの反射性能を保ちます。



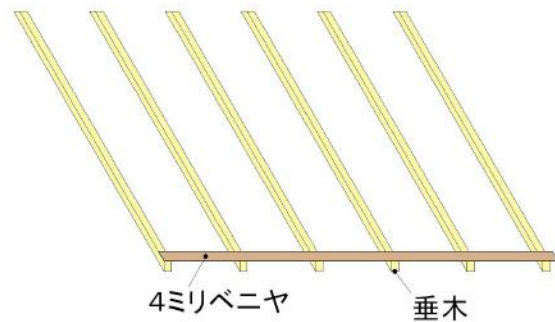
- ⑤瓦サン木を横向きに打ち、瓦を葺きます。  
瓦サン木の厚みが瓦とサーモバリアSの間の反射空気層の役割をします。  
\* 反射空気層の空気は通気する必要はありません。



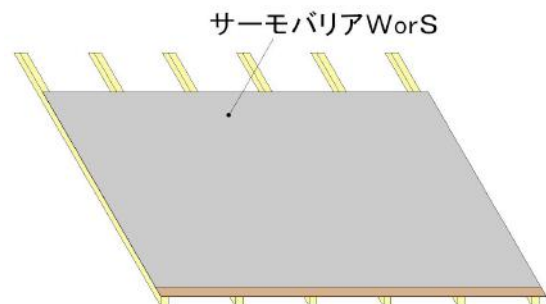
#### カラーベスト・ガルバリウム鋼板の場合

##### \* 垂木上施工マニュアル

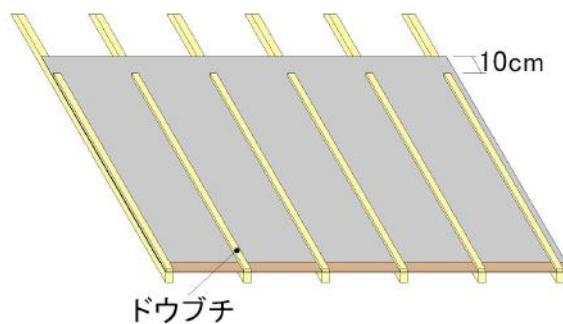
- ①タルキの先端に厚み4ミリ程度で幅の揃った板を打ちます。  
タルキ先端の厚み寸法を固定する目的とサーモバリアSをまっすぐ敷くための定規の役割のためです。



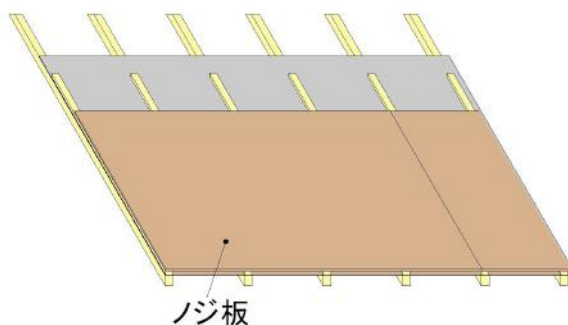
- ②サーモバリアSを4ミリ厚の板に沿って、タルキの上に敷きます。  
ステーブル(また釘)でサーモバリアSをタルキに留めつけます。



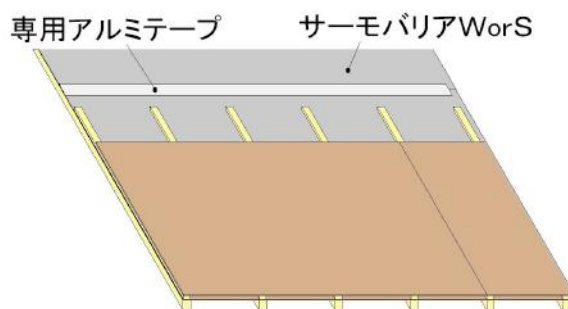
- ③タルキ当りに反射空気層のためのドウブチを打ちます。  
 サーモバリアよりも10センチ程度短く切ったドウブチを打ってください。  
 短く切っておくことでジョイントテープが貼りやすくなります。



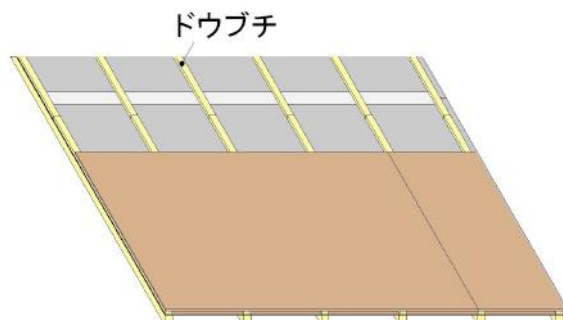
- ④ノジ板を貼ります。  
 タルキまで届く釘でしっかりと固定します。



- ⑤ノジ板を足場として、2段目のサーモバリアSを貼ります。  
 サーモバリアSのジョイントは重ねずに突付けジョイントを専用アルミテープで張り合わせます。

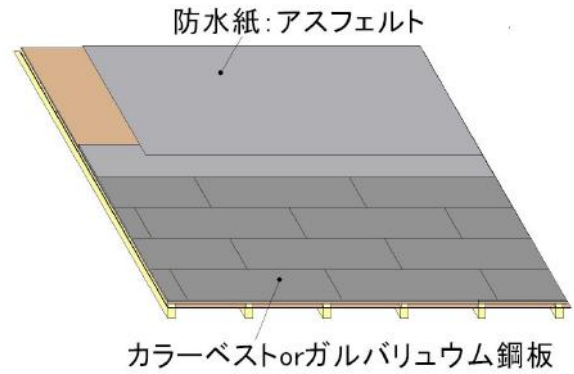


- ⑥2段目のドウブチを打ちます。  
 1段目と同じように、サーモバリアのジョイントより約10センチ控える長さのドウブチを打ちます。  
 続けてノジ板を打ち、④から⑥の工程を繰り返して行ないます。  
 \* 反射空気層の空気は通気する必要はありません。



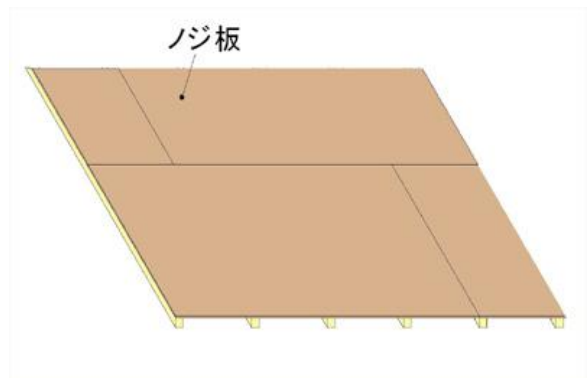
- ⑦ルーフィングを敷き仕上げ材を葺き、完成です。  
 \*ガルバリウム鋼板の場合も基本的には同じです。

\* 結露対策として、木材は良く乾燥したものをお使いください。  
 暖かく湿った空気が小屋裏にこもらないように換気口を設けてください。

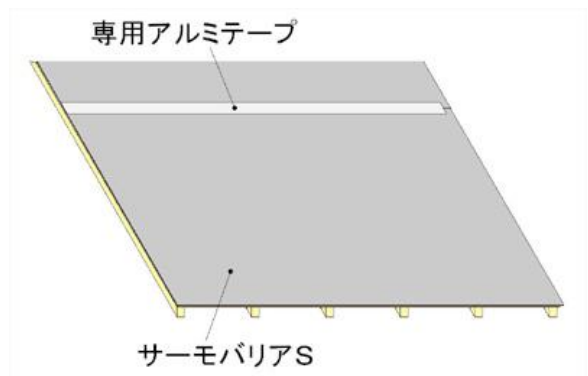


### \* 二重ノジ工法マニュアル

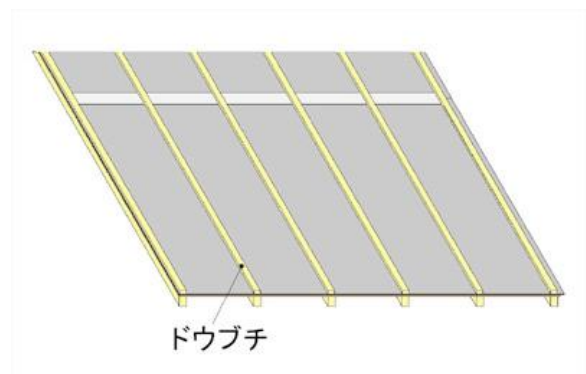
- ①タルキ上に捨て貼りをします。  
 捨て貼りは足場として利用するためです。



- ②サーモバリアSを張ります。  
 ステープル(また釘)でサーモバリアSをタルキに留めつけます。  
 サーモバリアSのジョイントは重ねずに突付け専用アルミテープで張り合わせます。  
 \* 縦方向にサーモバリアSを敷いてもOKです。  
 \* サーモバリアスリムの場合は3センチほど重ねます。(専用テープは不要)  
 \* サーモバリアスリムでもOKです。  
 注意) 滑りやすいのでご注意ください！

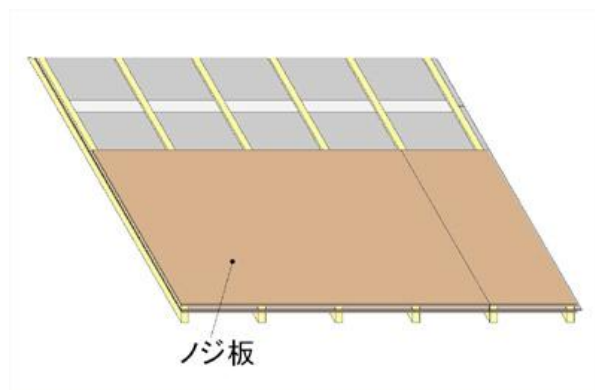


- ③タルキ当りに反射空気層のためのドウブチを打ち、反射空気層を確保します。  
 \* 反射空気層の空気は通気する必要はありません。静止空気であるほうが効果が高まります。



④ノジ板を貼ります。

タルキまで届く釘でしっかりと固定します。

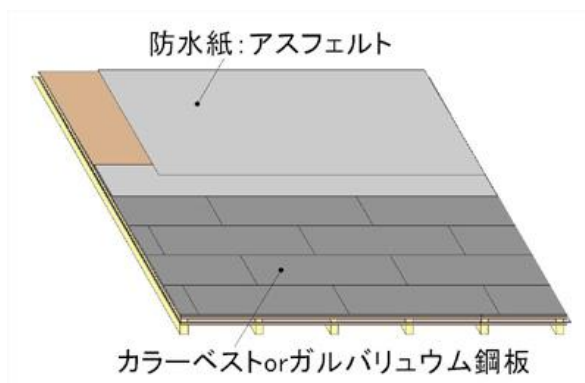


⑤ルーフィングを敷き仕上材を葺き、完成です。

\* ガルバリウム鋼板の場合も基本的には同じです。

\* 結露対策として、木材は良く乾燥したものをお使いください。

暖かく湿った空気が小屋裏にこもらないように換気口を設けてください。

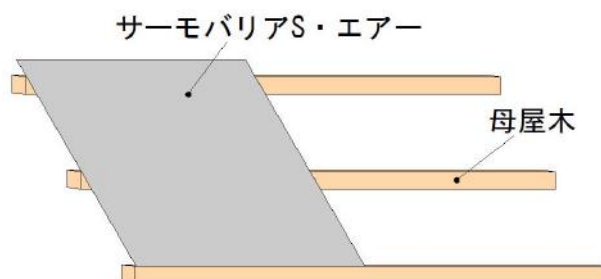


**\* 母屋上施工マニュアル**

①母屋の上にサーモバリアを貼ります。

貼る向きは母屋に平行でも構いません。

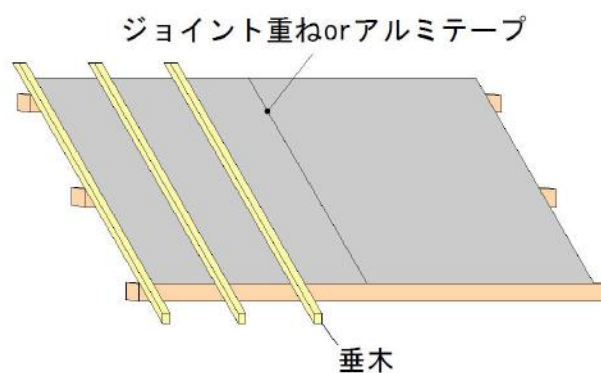
\* 発泡ウレタンをサーモバリアに吹き付ける場合は通気性のあるサーモバリアエアーをしてください。



②サーモバリアの上から垂木を取付けます。

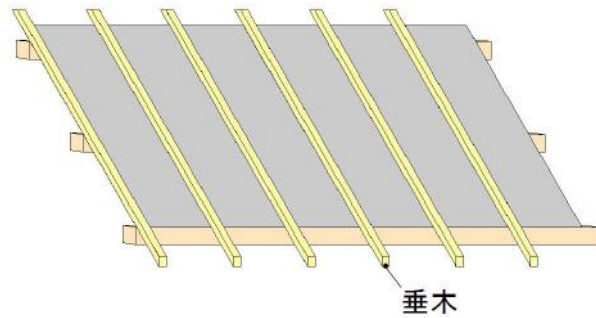
垂木で足場を確保しながら次のサーモバリアを貼っていきます。

\* サーモバリア S もしくは W を使用する場合はジョイントを突きつけとし専用アルミテープで貼り合わせてください。エアーの場合は 10cm ほど重ねてください。

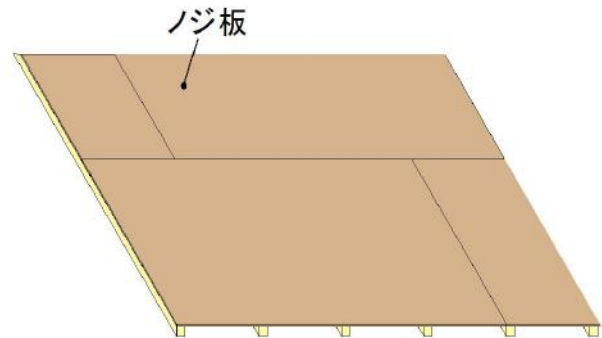


③屋根全面にサーモバリアを貼り、タルキを取付けます。

\* 垂木の空間が反射空気層となります。



④垂木の上に野地板を取付けます。

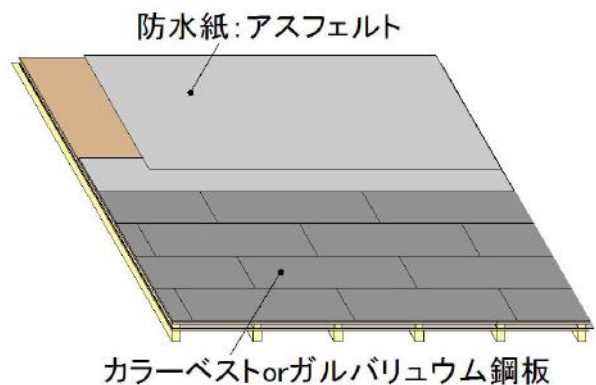


⑤ルーフィングを敷き仕上材を葺き、完成です。

ガルバリウム鋼板の場合も同じです。

\* 結露対策として、木材は良く乾燥したものを  
お使いください。

暖かく湿った空気が小屋裏にこもらないように  
換気口を設けてください。



#### 施工上の注意

- ・ 遮熱材サーモバリアは反射空気層が熱源方向に必ず必要です。
- ・ 現場取付時、太陽光がアルミに反射して眩しさを感じますので、サングラスなどの防護対策を施すことをお勧めします。UV カットの日焼け止めを肌の露出部分に塗られることお勧めします。
- ・ アルミ表面はその特性上滑りやすいので、必ず命綱などの落下防止策を施してください。母屋に直接貼る場合は踏み抜けないよう充分ご注意ください。

株式会社ライフテック

\* 本マニュアルの無断転用を禁じます。